



歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
ホームページ <http://rekkodan.a.la9.jp/>

団長：宮田太郎 TEL.090-7002-3431
本部：東京都多摩市桜ヶ丘

素晴らしい長いタイムトンネルを越えて、いま蘇る古街道遺跡群

“小野路・小山田・野津田の歴史古道群” を「日本遺産」「国史跡」に!!

多摩丘陵古街道
日本遺産登録のスケジュール

~~~~希少なる「東京の古代・中世歴史遺跡群」を未来へ遺し伝える~~~~

私たちはこれまで15年間の古街道団の活動と、それまでの20年間の計35年に渡り「多摩丘陵」を核に、精力的な実地における古街道調査を推進してきました。全国でも最多数を誇る現地探索会や調査会、ウォーキング、歴史講座を多摩丘陵地域や武蔵野、関東各地の他県にも足を延ばして実施し、その回数は5,000回をすでに超え、調査記録や資料も膨大な量となってきています。

この国内でも最多数の実施実績を「過去の行事」とせず、今後は様々な形で活用すべき時代が来たものと考えています。一方で実際の古道遺跡が最もよく残る最大の歴史環境エリアの価値や素晴らしさを、全国へ計画的にPRできたかと言えばそうではなかったかもしれません。それは多摩丘陵の里山地域が、観光地ではなく地域の暮らしの場であり、一般ハイカーとの間などで起きる様々な問題を考慮してきたことや、ベッドタウンとしての激しい開発と土地の利用変化の中で、「道」という遺跡を保全・活用するという観念を広く地元にまで浸透させることの難しさを実感し、時間もかかってきたからでもありました。

しかし、今や時代もどんどん変化してきています。

中でも特に町田市北部丘陵地帯の小野路・野津田・小山田の里山地域は、我々が最も恩恵をいただいてきたエリアでもあります。そして「小野路宿里山交流館」が出来てからは、これまでトイレもなく地元の方々と接する機会もないままであった歴史探訪者やハイカーも安心して歩けるようになり、食事や地元野菜購入もでき、また地域の人と会話する機会も可能となりました。地元にとっても来訪者にとっても新しく暖かな風が吹き始めたともいえますかもしれません。

しかし現在最も気になるのは、これまで大切に見守って来たエリア、特に優れた歴史環境である小野路の関屋一帯や別所地区、小山田などの里山に、ここ最近、外国人と国内ブローカーが、転売目的で残土置き場や資材置き場と称して土地の買いつけに来ている話を各地で聞くこと



鎌倉古道と古代東海道が集まる奇跡の丘  
町田市「野津田上の原」

が多くなりはじめていることです。一方で土地の所有者の高齢化に並行して持ち主の不明化が始まり、このままで次第に健全な土地の維持が難しくなるばかりか、虫食い状態の乱開発により土地が荒れ20年もしないうちにスプロール化し、無秩序な街へと変化していくことは目に見えています。

地元の日常の暮らしの場である歴史環境や里山を、このままの形で維持し、さらに安心できる暮らしの場になるよう、また外部からの来訪者を受け入れることが喜びになるような仕組みを作っていくべき新たな時代がやってきています。

2018年度末(2019年3月)

までに「国への史跡登録」や「日本遺産・東京候補登録」などへの申請を関連自治体に働きかけ、地域の方々と共にじっくり考えてみたいと思います。

これらのことは、今年度の総会(5月27日)にて指針の一つとして発表し、

新たな年度から具体的に活動していきたいと思います。

今後とも団員ならびに古街道ファンの皆様には、さらに興味ある方にもお声をかけて頂き、さらなるお力添え・ご協力をお願ひいたします。



町田市小野路の里山では、地域内外の人たちによる手作りの交流が始まっている

■多摩ニュータウンがある多摩丘陵北西エリア=町田市北部丘陵の小野路・野津田・小山田地域には、広大な里山風景と歴史環境保全地域(東京都の管轄)があり、そこには主に、以下の様な歴史古道が集中して集まっています。

- ①「古代東海道」(万葉時代の一級国道。防人が九州に向かった古代の駅路)
- ②「奥州古道群」(4路線=相模国府~武藏国府の間の古代~中世の準国道  
\*その先を延長すれば陸奥国府・仙台・多賀城へと続く)。
- ③「古代甲州道」(古くは縄文~中世末にかけて多用されたルート。近世甲州街道以前の敵討・八ヶ岳地方~甲州盆地~相模野~多摩丘陵~武蔵野ルート)、
- ④鎌倉街道群(主に「上道」の本路と支路) \*支路は約3ルート
- ⑤徳川家康の日光改葬千人行列の道(後の大山道)
- ⑥新選組の道(出稽古の道)
- ⑦生糸街道&巡礼街道(武相観音巡礼道、東西日本往来巡礼古道)
- ⑧多摩よこやまの道(「日本の歩きたい道500選」「新日本歩く道紀行・歴史の道100選」)

## トピックス

### 北海道の研究 & 交流仲間である「えりも町」の歴史古道が、このたび「国史跡」に指定されました !!

★江戸時代末の幕府による蝦夷地の公用道路“猿留山道（さるるさんどう。＊北海道えりも町）”が、2018年2月に「国史跡」指定となりました。かつて伊能忠敬がここを測量し（忠敬は多摩市の二ノ宮も測量しています！＊篠原啓一さんの秋のウォーク予定〔下記〕をご参照ください）。また幕末にはこの道の整備に関わった探検家・松浦武四郎がアイヌの先導で歩いた歴史ある古道でもあります。地元の方々が中心となって草刈りや保全整備を続けてきた結果による成果です。このえりも町の成功例を実際に学び、北海道全体からフットパス（地域のありのままの道を歩いて地域活性を行なう活動）仲間が集い、現地を歩くイベントが、「全道フットパス大会2018 INえりも町」として2018年6月23日（土）～24日（日）に開催されます。なお、23日は当団の宮田（団長）が現地の大会において「猿留山道～その大いなる魅力～」と題して基調講演を行います。



北海道えりも町の国指定「猿留山道」の位置図  
(えりも町郷土資料館HPより)

これらが「国史跡」となったことは、文化庁が歴史古道をいかに登録対象として高く評価しているか、また地域活性や未来に役立つものとしてとらえているかの証でもあります。

ちょうど10年前の全道フットパス大会（えりも町）にて、宮田も講演させて頂きました。その後、この古街道が地元の皆さんのかゆまぬ愛情と整備活動で、いまや晴れて「国史跡」となった訳です。アイヌの聖地から眼下に見るハート形の神秘の湖「豊似湖（とよにこ）」の美しさは格別です。素晴らしいこの「猿留山道（さるるさんどう）」を楽しむ、フットパス大会の様子や今後については、えりも町の皆さんと連携して情報を頂き、時折お伝えしていきたいと思います。

★えりも町フットパス大会のツアーワークの案内は、古街道団HPや宮田太郎の個人HPをご覧ください。ただし募集人数には限りがありますので、ご興味がある方はえりも町教育委員会または「えりも町郷土資料館」の中岡さんまでに直接お問い合わせください。

次ページ「みやたたろう外部講座」欄を参照。

## 歴史古街道団 総会&歴史研究講演会

2018年5月27日(日) 多摩市関戸公民館 8階 大会議室

- ・14:00～15:00 総会
  - ・15:15～16:30 (同じ会場にて団員の 風間 武さんによる研究発表)
- ※申し込み不要 総会は会員対象  
講演会の参加費は会員500円 一般700円

【テーマ】 古代のハイウェイを訪ねて  
～東山道痕跡の現地踏査レポート～

【講演者】 風間 武さん(当団 団員)

【内容】近年では実際に「古代街道調査」の手法が、従来から大幅に進化し、インターネットの普及や空中からの観察技術の向上で、現地の様相が容易に見て取ることができ、合わせてこれまで通り現地訪問での観察と合わせていくことで、かなりの成果をあげることが可能になってきました。5月27日の歴史古街道団総会では、個人ブログ「ヨコハマ古道紀行」で精力に活動をされている風間 武さんにお話をうかがいます。

風間さんは、古地図や航空写真、微地形が分かる3D地図などをパソコン上で比較検討して、位置を推定されています。今回は東山道諸国について、数年にわたって調べた成果をレポートして頂きます。

## 2018年 秋の講演予定のご案内

詳細は8月末発行予定の次号団報や古街道団ホームページ また事前配布されるチラシなどをご覧ください

### 《その①／日本遺産を知ろう！ 文化財登録関連の講演》

(仮題) 素晴らしき“日本遺産をめぐる旅”～その魅力と展望～

【内容】国内を代表する大手旅行会社「クラブツーリズム」のテーマ旅行部の顧問として、世界遺産や日本遺産の旅を数多く企画実施し、また専任講師を務めてこられた黒田尚嗣さんは、現在「日本遺産」選定や推進についても深く関わっています。日本遺産とはどんなものなのか、奥深い旅の醍醐味とはどんなものか、また、いま東京を代表する候補がない中、「多摩丘陵の歴史古道群と中世歴史環境」は候補になりうるのかなど、興味尽きないお話をさせて頂きます。

【開催日時】2018年9月初め～10月下旬を予定

※詳細は8月末発行予定の次号の団報  
やチラシ、HPなどで告知いたします

【会場】未定 東京都多摩市内で検討中

【講師】黒田 尚嗣 氏

- クラブツーリズム(株)  
　　テーマ旅行部顧問
- 旅の文化研究所 研究員
- 一般社団法人  
　　日本旅行作家協会 会員



### 《その②／日帰り探索ウォーク》

(仮題) 伊能忠敬が多摩村にやってきた?!  
～知られざる江戸時代測量の道と二ノ宮の里～

【内容】日本初の実測日本地図を作製するという遠大な構想の下、全国を測量して歩いた伊能忠敬が、わざわざ寄り道した二ノ宮への道を、日野から聖蹟桜ヶ丘の二ノ宮まで歩くという計画で、篠原啓一さんの案内で2回に分けて実施いたします。2回のコースは8月発行予定の次の団報にてお知らせいたします。実施は10月以降になる予定です。

【開催日時】計画中(2018年10月下旬以降を予定)

【コース】未定 東京都日野市高幡から多摩市内  
へのコースで2回を検討中

【講師】篠原 啓一 氏

1958年生まれ 稲城市在住

- 一般社団法人・共同通信社編集局センター長
- 多摩ニュータウン学会・筆頭理事
- 歴史古街道団 団員

申し込み不要 当日現地にて受付 参加費：団員 700円 一般 1,000円 団員ご家族は2人で1,000円  
 昼食：自由昼食（飲食店でも弁当持参でも可）水筒（飲料）・雨具等のウォーキング・グッズは各自でご持参下さい  
 雨天でも実施（大雨や大風などのよほど荒天時ののみ中止（当日前日6:30までに催行可否を決定します）

晴れの日でも、にわか雨・通り雨 対策として雨具は必需品  
 宮田 携帯 090-7002-3431  
 \*詳細は歴史古街道団HP参照

※雨天のために中止になりました3月20日実施予定「徳川家康・日光への御成道」と小野路の「鎌倉古道」の地下遺跡を再度行います。ただし 内容とコースを若干変更しての開催となりますが集合と解散地・時間などの変更はありません。

■ 日帰り探索ウォーキング

## “徳川家康・日光への御成道”と小野路の“鎌倉古道”的地下遺跡 2018年5月13日(日)

**【内容】**当団が本年の2月以降開始しているシリーズ、多摩市一本杉公園内の「推定・徳川家康の日光改葬の千人行列の道＆大山道」と鎌倉古道の本物の地下の遺構を現地にて観察します。梅雨に入る前に現地を楽にみられるチャンスです。

\*4月30日開催の鎌倉古道・歴史遺産の会主催（宮田太郎講師）のコースと一本杉公園まではおよそ同じコースですが、後半は公園から西へ、八王子道を南野へと進む別のコースとなります。

**【コース】**多摩センター駅小田急側改札口前に午前10時集合=路線バスで豊ヶ丘4丁目バス停～徒歩開始～貝取団地の貝取こぶし館～旧鎌倉街道・推定ルート（家康の日光改葬・千人行列の道）～鎌倉古道推定ルート～貝取6丁目～妙桜寺脇の鎌倉古道遺構～崖の断面硬化層～一本杉公園（各自弁当昼食）～徳川家康の御尊檀御成道・推定遺構（古街道団のメンテナンス管理地見学）～小野路道（新選組の道）～八王子道～南野の奥州古道～南野バス停（解散）～多摩センター駅へ。

### 鎌倉街道早ノ道

### ～二つの尾根古道をあるく～

■ 日帰り探索ウォーキング

2018年6月2日(土)

**【内容】**ルート上には源頼朝伝説の腰掛松伝承（多摩市打越山）もあった、鎌倉に一早く到達するための高速鎌倉道とも呼べべき道が「早ノ道」です。

能ヶ谷地区（町田市）にもこの道の伝説があり、これらはみなつながっていたと考えられます。今回は宮田の二つの推定路線を訪ねて、川崎市麻生区と稻城市平尾の境界尾根や栗平の尾根の双方を歩きます。

**【コース】**京王相模原線「若葉台駅」改札口前に午前10時集合～トンビ山古道（県境の早ノ道①）～黒川営農圃場～新選組の道～若葉台駅（各自由昼食※複数の飲食店や公園あり）～鎌倉街道早ノ道②～汁守神社～黒川分教場（青少年センター）～分水界の早ノ道～栗木の早ノ道～上杉館跡伝説地～推定・菜守神社（栗木御嶽神社=旧・大麻止乃豆乃天神社）～小田急多摩線「栗平駅」 歩程 約6km 解散は15:45頃

## みやたたろう 2018年5月～8月までの外部講座と旅

各コースとも事前の申込みが必要です。  
 ★印(6/13・7/11)は半期ごとの申し込み。  
 必ず事前に詳細要項等をご確認下さい。

- 5月16日(水) 1泊2日 ) 「琵琶湖西岸編 天智天皇の大津京と古代海人族“和邇氏の遺跡”」 主催→クラブツーリズム歴史  
 ~17日(木) 琵琶湖一周の旅
- 5月19日(土) 宮田太郎案内の講演) 柏葉窯祭 “小野路&多摩の深い歴史を味わう‘里山古道散策会’” & ウォークイベント 主催→柏葉窯(勝田)
- 5月22日(火) 講演&現地ウォーキング「多摩の歴史古道を歩く 新視点！国分寺台地の古代祭祀場跡ロマン」主催→多摩らいふ俱楽部  
 (会場:国分寺市立cocobunjiプラザセミナールーム コース:国分寺周辺) ※現在キャンセル待ち (たましん)
- 5月24日(木) 日帰り探索ウォーキング 幕末・明治“文明開化時代の証”八王子絹の道”古道を探る 主催→クラブツーリズム街道
- 5月30日(水) 1泊2日 ) 「琵琶湖南岸編 弥生の環濠集落と湖東三山&近江商人のまち」 ~31日(木) 琵琶湖一周の旅 主催→クラブツーリズム歴史
- 6月13日(水) ★日帰りウォーキング 「鎌倉幕府の財宝の謎～金沢称名寺と柴港の古街道～」 主催→NHK学園 オープンスクール
- 6月14日(木) 日帰り探索ウォーキング 「文明開化の痕跡を訪ねて ヨコハマ元町&山手の歴史ロマン」 主催→クラブツーリズム街道
- 6月15日(金) 1泊2日 ) 「駒ヶ根フットバス大会」(宮田太郎講演とウォーキング内ほかイベント) 主催→駒ヶ根まほろばの里研究会  
 ~16日(土)
- 6月19日(火)~21日(木) 2泊3日ツアー 「海の道・吉備王国と“しまなみ海道”の旅」 主催→NHK学園 オープンスクール
- 6月23日(土) 1泊2日ツアー ) 「北海道・全道フットバス大会・えりも町編」 ~24日(日) 宮田講演 & ウォーク ○23日宮田講演 テーマ「猿留山道～その大いなる魅力～」 ○24日ウォーキング 「猿留山道コース」「百人浜とえりも岬コース」 主催→えりも町郷土資料館(教育委員会)
- 6月30日(土) 日帰り探索ウォーキング 「相模國府とサガム(相武)国の謎をあるく」 主催→クラブツーリズム街道
- 7月1日(日) 日帰り探索ウォーキング 武相国境古道をあるく 「巨大スリバチ地形“瀬上池の森”とタタラ氏の道」 主催→クラブツーリズム歴史
- 7月11日(水) ★日帰りウォーキング「原町田宿の鎌倉古道」 主催→NHK学園 オープンスクール
- 7月12日(木) 日帰り探索ウォーキング 武相国境古道をあるく「白山道の切通しと国境線終着の野島」 主催→クラブツーリズム歴史
- 8月12日(日) クラブツーリズム・フェア(祭) 主催→クラブツーリズム街道  
 ○新宿アイランドタワーにて宮田の講演が2本あります。(時間と会場は宮田HP、クラブツーリズムHP参照下さい。)  
**【講演内容】**  
 ①「知られざる北海道の歴史ロマン～アイヌ＆和人・北の日本海交易“道南十二館と夷王山城”～  
 ②房総半島“安房国(あわのくに)”その壮大なる古代史ロマン～海を渡りし阿波国(おはぐに)の忍部氏たちの遺蹟～
- 8月26日(日) 国分寺市イベント たましんと国分寺市地域活性化包括連携協定締結記念セミナー 会場:国分寺駅北口「cocobunji(ココブンジ)」セミナーホールにて宮田がコーディネートする歴史語り＆トークショーイベントを実施  
 ※詳細は追ってチラシや古街道団HPにてお知らせ致します。

|               |                                                          |             |                            |
|---------------|----------------------------------------------------------|-------------|----------------------------|
| ◎クラブツーリズム 歴史  | (担当)丹治 ☎03-5323-6940                                     | ◎多摩らいふ俱楽部   | (担当)清田 ☎042-526-7777       |
| ◎クラブツーリズム 街道  | (担当)角田 ☎03-5323-6681                                     | ◎NHK学園      | (担当)青木、堀内 ☎042-572-3151    |
| ◎駒ヶ根まほろばの里研究会 | (担当)中島 ☎090-3143-2440                                    | ◎えりも町郷土資料館  | (担当)中岡 ☎01466-2-2410       |
| ◎柏葉窯(勝田)      | 町田市小野路町4040-1 ☎042-708-8619 メール/hakuyou@ra2.so-net.ne.jp | ★ブログをご参照下さい | http://hakuyou.blogspot.jp |

# ガイドリー・ダーと行く史跡探索!

※ 各コース(次ページ 多摩よこやま道ウォーク含む)とも

参加費 団員 500円 (団員家族は2人で 700円) 一般は1名700円 (資料代&保険料共)

※5月20日(日)は団員 600円 (団員家族は2人で 800円) 一般は1名800円 (資料代&保険料共)

6月6日(水)の交流会は1名につき一律500円 (資料代&保険料共) 雨天の場合、古民家で「交流会」のみ実施

事前申し込み不要。当日現地にて受付。雨天時は中止。(小雨決行。当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。)

昼食(弁当)・飲料・敷物・雨具等ウォーキンググッズは各自ご持参下さい。

実施要領は、チラシまたはホームページにて必ずご確認ください。

## 北条氏照と八王子城

— 日本百名城 —

### ～未完成の大城郭～

【内容】八王子城は天正6年(1578)頃から北条氏照によって新しく築かれた城である。その構造は急峻な地形を利用した要害部(頂上曲輪周辺)、氏照の居館で御主殿と呼ばれる居館地域、家臣団の屋敷や寺院跡を含む根小屋地区、その外側の防御施設群などで構成されている。

西は富士見台から東は心源院までの約3.5kmに及び(元八王子を城下町と捉えると更に広くなる)北は浅川から南は中央自動車道に挟まれた大城郭を目指したようだが天正18年(1590)豊臣軍の大軍に攻められて落城し未完成の城と云われている。現在各所に残る遺構は戦国時代最後の城で400数十年前の遺構を残している貴重な城であります。

【コース】JR中央線・京王高尾線「高尾駅」北口 出口付近 9:45 集合

バス①番乗り場 10:02発乗車『八王子城跡』下車。エントランス広場の模型→大手門・古道跡→曳橋→御主殿と滝→エントランス付近で昼食→金子曲輪→柵門跡→八王子神社→頂上曲輪→松木曲輪→小宮曲輪→バス停(15:00頃解散予定 ○高尾駅行きバス15:20)

※都合により変更の場合あり



▲「御主殿」東の復元前の階段

☆今回カラーの縄張り図を使用のため受益者負担(100円)をお願い致します。(上記参加費をご参照下さい。)  
☆頂上曲輪までは山道で健脚向きコースなので参加に際しては各自で考慮願います。

## 鎌倉古道を歩こう!

— 宮田団長の推定ルートを辿る —

【内容】武蔵國分寺の薬師如来ご開帳日に伝鎌倉街道を歩いた時、鎌倉古道をさらに北へ歩いてみたいという声が聞こえてきました。空耳では、ありませんよ! そこで、小平市に長く住んでいる私が鎌倉古道歩きの素人ガイドを務めることになった次第です。歩く行程は、宮田太郎歴史古街道団団長の推定ルートを辿ります。

鎌倉古道は、国分寺市恋が窪(JR西国分寺駅付近)から北へ小平市を経由し東村山市八国山近辺へ向かっていると推定されています。国分寺市恋が窪を過ぎると野口橋(東村山市)が架かる空堀川までの6~7kmは自然河川・湧水がありません。この間は、北へほぼ一直線、古代東山道武蔵路とほぼ並行していたようです。現在は、大部分が多くの人々の暮らす住宅地となっていますが、鎌倉時代は馬に乗った人もすぐに見えなくなる草深い野原だったのではないか?と考えられます。当時に思いを馳せながら皆さんと一緒に歩いてみたいと思います。

2018年  
第1弾 6月23日(土)  
第2弾 7月21日(土)

ガイド  
須知正度(団員)  
連絡先 / 須知 正度  
090-3695-7580



▲ 鎌倉橋



▲ 鎌倉古道跡の標柱

#### 【コース】

6月23日(土) / JR西国分寺駅 北口改札前 9:30集合→熊野神社→上鈴木稻荷神社(小平市)→鎌倉橋(玉川上水)  
→石塔が窪→JR武蔵野線 新小平駅付近(解散) ※弁当昼食: 上水本町地域センター(小平市)

7月21日(土) / 西武国分寺線小川駅 東口改札前 9:30集合→九道の辻→八坂神社→野口橋→東村山ふるさと歴史館→徳藏寺→西武新宿線・国分寺線 東村山駅付近(解散) ※自由昼食: ファミレス他(東村山府中街道沿い)

# 月例「多摩よこやまの道を歩こう！」

参加要項は前ページを参照（詳細は必ずチラシまたはホームページにてご確認ください）

2018年5月26日(土) 古道の結節路で眺望を楽しもう!!

□須知正度 講師のガイドウォーク

連絡先▶090-3695-7580(須知)

【内容】赤駒を山野に放し捕りかにて 多摩の横山 歩ゆか遣らむ 《宇遲部黒女 万葉集4417》

万葉の頃は、武藏国府から眺めると横に連なる山々、その夕影も  
美しく、「多摩の横山」、「眉引きの山」と呼ばれていた尾根筋を  
走る「よこやまの道」。この道の東側では、「推定古代東海道」と  
重なったり、並行していたりしていたと考えられます。武藏国府に徴集された防人達が歩いて、多摩のよこやまを越えて行ったと  
想像されています。同じく西側では、鎌倉古道や奥州古道と交叉  
していたと推定されています。多摩よこやまの道は、「古道の連  
結路」つまり、現代の高速道路に設けられているジャンクションの  
ような役割をしていたのではないか?と思われます。



また、よこやまの道周辺には里山の自然が残っており、四季の移り変わりを楽しめます。この豊かな道を歩き、感じ味わってみませんか?

【コース】京王相模原線「若葉台駅」改札口前 9:30集合→よこやまの道(東)→防人見返りの峠→謎の並列古道跡(推定古代東海道跡)→古道五叉路→東光禪寺周辺→小野路別所薬師堂→小野路別所大犬久保→鎌倉古道跡→妙櫻寺→一本杉公園(昼食)→よこやまの道(西)→奥州古道(中尾道)→石仏群→総合福祉センター→小田急多摩線 唐木田駅付近(15:30頃解散予定) ※都合により変更の場合有り

2018年6月6日(水) 一本杉公園の古民家(旧加藤家)で、わいわい交流会!

□多摩よこやまの道を歩こう 番外編! 連絡先▶090-3695-7580(須知) / 090-5403-2217(伊藤)

【内容】今回、女性スタッフが古民家の厨を借りて「お汁もの」を作ります。  
飲み物等もご用意して、皆さまをお待ちいたします。



旧加藤家

【コース】(案内人:三好孝典) 小田急多摩センター駅改札前 9:30集合→神奈中バス(10番乗場)9:50発/鶴川行乗車→「一本杉公園」バス停下車→家康御尊檀御成道周辺散策(10:00~11:30)→一本杉公園・古民家→昼食・交流会(12:00~13:30頃まで)→公園内古道メンテナンス(下草刈り)(14:00~15:00頃まで)→一本杉公園または最寄りのバス停にて解散(15:00頃解散予定) ※雨天の場合、古民家で「交流会」のみ実施 ●参加費は一律一人500円(前ページ 参加要項 参照)

★ 「おにぎり」(パンでも可)と、お箸をご持参ください。  
★ お手伝い自由。見学自由。周辺散策自由。

★ アルコール類は、持ち込めません。ご了承ください。  
★ ひやかし歓迎。早々の帰宅勝手。

2018年7月2日(月) 稲城の森へ、“チョウケンボウ”を見に行こう!!

□ 富田昭夫・真壁寿美子・斎地カズエ講師のガイドウォーク 連絡先▶090-6184-9060(斎地)

【内容】多摩よこやまの道の東端から、尾根はさらに稲城市若葉台地区へ続きます。多摩ニュータウンの一角をなす地区ですが、近くには奇跡的に谷戸地形が残されたところもあり、森には小型の猛禽類であるチョウケンボウが生息しています。その姿に出会えるよう期待いたしましょう。あたりのビューポイントからは、米軍施設内の大麻止乃豆乃天神社旧地(天神山)や、天神バケを探すことが出来るかも知れません。そのほか、ニュータウン地区とは一味違う古い地域の小道も歩きます。風わたる青葉の森へどうぞお出かけください。



チョウケンボウ

【コース】京王相模原線「若葉台駅」改札口前 9:30集合→若葉台公園➡上谷戸(かさやと)の道→上谷戸大橋[ここまで1.5km]→寶蔵院[0.5km]→稲城中央公園→くじら橋[2km]➡眺望ポイント→上谷戸大橋[2km]→台地の道→若葉台駅[1.5km](15:30頃解散予定)(歩程約7.5km)(昼食は途中の公園などで) ※都合により変更の場合有り

★ 望遠鏡・双眼鏡等バードウォッチング グッズをお持ちの方はお忘れなく!!

# 《歴史講演会》 のお知らせ

日 時：2018年7月28日(土) 14:00～15:30  
場 所：多摩市関戸公民館 8階 大会議室  
テ ー マ：「古代相模国高座郡をめぐる地域支配と交通」  
講 師：田 尾 誠 敏 さん

講師プロフィール 所 属／東海大学文学部・大正大学文学部・関東学院文学部等 非常勤講師  
専 門／日本歴史考古学(古代)、東南ヨーロッパ考古学、博物館学

## 最近の主な著書・論文等

|                                           |                     |        |
|-------------------------------------------|---------------------|--------|
| 『大地に刻まれた藤沢の歴史－一古墳時代－』                     | 藤沢市(監修・共著)          | (2014) |
| 『ヨーロッパ最古の王墓』『アジアの考古学2 アジアの王墓』             | 高志書院                | (2014) |
| 『関東への灰釉陶器の流入状況と在地土器』『灰釉陶器生産における地方窯の成立と展開』 | 東海土器研究会             | (2015) |
| 『大地に刻まれた藤沢の歴史－一奈良・平安時代－』                  | 藤沢市(監修・共著)          | (2015) |
| 『観光資源としての史跡と博物館』『博物館研究』Vol.50 No.9        | 博物館研究会              | (2015) |
| 『相模国における運河と水上交通』『日本古代の運河と水上交通』            | 八木書店                | (2015) |
| 『ゲタイ族と黄金遺宝』                               | ディアナ・グルゴヴァ著、愛育社(共訳) | (2016) |
| 『古代神奈川の道と交通』                              | 藤沢市文書館(共著)          | (2017) |
| 『神奈川県下寺尾官衙遺跡群と相模国高座郡南部の景観』『日本古代の道路と景観』    | 八木書店                | (2017) |
| 『相模国における官衙・初期寺院の景観とその形成』                  | 『山川出版社』             | (2017) |

## ひとこと

出身大学である東海大学湘南キャンパスの調査を助手として10年ほど担当していましたから、古代相模国の土器とその流通について関心をもってきました。ここ10年ぐらいは神奈川県内にある官衙遺跡の史跡指定に関わってきたため、官衙の立地や交通などの研究を行ってきました。一方で学生時代にはブルガリアに留学して新石器時代の土器をテーマに卒論を書いたので、現在も細々とですが東南ヨーロッパの先史時代の研究も続けています。

吾妻鏡勉強会まとめ役：加藤 正昭 ▶ 連絡先／090-8010-9848

## 吾妻鏡 勉強会 吾妻鏡に描かれた鎌倉時代の出来事について勉強し楽しむ会

歴史古街道団では、「歩くだけでなく歴史も知ろう」との意気込みをもって、鎌倉幕府関係の編年体史書、政治史・武家社会史の基本史料である「吾妻鏡」の勉強会を行っています。

時代を追いながら面白い記事を抜粋して、学んでいます。1月吾妻鏡について、2月・頼朝旗揚げ、3月・石橋山合戦、4月・頼朝奇跡の挽回という順に勉強してきました。

今からでも遅くありません。関心あれば、是非、皆さんもご参加ください。今後の予定は、右記のとおりですが、後続の清盛死す・墨俣川合戦・三浦遊覧等々を読んでいきたいと考えております。

※ 8月は、第三週に実施予定。

会場が確保され次第、ホームページでお知らせします。

再開

5月18日(金) 14:00～16:00

多摩市関戸公民館 第1学習室

テーマ／「富士川の合戦・義経参上」

レポーター／加藤 正昭

6月15日(金) 14:00～16:00

多摩市関戸公民館 第2学習室

テーマ／「平家 三井寺と南都を焼く」

レポーター／加藤 正昭

7月20日(金) 14:00～16:00

多摩市関戸公民館 第3学習室

## 古代史 勉強会 地域を良く知るために多摩の歴史を中心に勉強し楽しむ会

○ 7月25日(水) 14:00～16:00  
多摩市関戸公民館 第2学習室  
テーマ／「倭の五王の時代(5世紀)は、  
どんな時代？」  
レポーター／須知 正度

「歴史を改めて見直す」とどのようなものが見えてくるか？ということで、旧石器時代から縄文時代、縄文から弥生へ、弥生時代、弥生から古墳へと時代の特徴や変遷要因に関して、遺跡報告書等及び日本歴史文献を中心に勉強しています。

謎と言われる4世紀は、朝鮮半島における高句麗の南下に対応して、倭兵が海を渡ったことを含め新羅や百濟との通交・交渉・交流がしばしば見られた外交の世紀だったようです。これらに加えて、5世紀には中国大陆との間で物や文化の交流が盛んになり始めます。

どのような時代だったのでしょうか？皆さんと一緒に勉強したいと思います。興味のある方は、どなたでも歓迎します。ご参加ください。

8月は第四週を予定  
※日時や会場等詳細はHPで告知  
テーマ／「4～5世紀の関東は、  
どんなだったのか？」

入会ご希望の方をご紹介ください!!

団員には、当団主催の行事参加費を割引。

歴史ロマン古道ニュース(団報)をお送りします。

年会費は3,000円(4月から翌年3月まで)。10月以降入会は1,500円

【お申込み方法】 ゆうちょ銀行備付け「振替払込取扱票」に「入団」と明記し、ご氏名・ご住所・ご連絡先電話番号をご記入の上、年会費を下記へご送金ください。

【振込先】ゆうちょ銀行振替口座：00140-7-445195 【加入者名】歴史古街道団

ウォーキング参加時などに、団運営委員にお申し出いただいても、お手続きいたしますのでお気軽にどうぞ。





## 下野国府域の東山道駅路はどこに

風間 武 (団員)

古代下野国である栃木県では、東山道跡と見られる遺構が多数見つかっています。ところが分布が偏っており、国府域を含む南西部は空白地帯。このエリアで駅路はどのように復元されているのでしょうか。

まず、定説ルートは下図の通りです。



▲『高根沢町史 通史編Ⅰ』  
2000年より

国府域手前で緩やかに「く」の字にカーブして東に進み、国府から伸びる南北道と交差していましたと考えられています。斜行地割は碁盤目状の条理地割の中でもよく目立ち、行政界ともなっています。

古道の痕跡であることに異論はないでしょうが、古代駅路である証拠はあるのでしょうか？ 実はこのルート上で、現代

下野国府跡は公園として整備され、前殿が当時の姿に復元されています。



併設されている記念館の展示パネルでは、戦後撮られた米軍航空写真に推定ルートが下図のように記載されています。



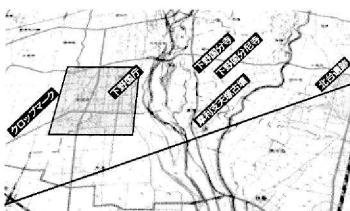
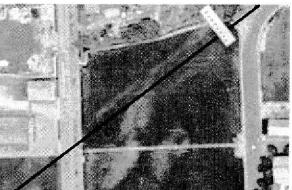
の航空写真に決定的な証拠を見つけました。クロップマークです。（右図）

畠地にくっきりとレールのような二本の線が浮かび上がっています。別の年の写真でも確認。他所の例にあるように、地下の駅路の側溝が地表に浮き出たものでしょう。

興味深いのはその道幅です。側溝心々間距離を測ると約9m。全国で確認されている平安時代の駅路の幅と一致しています。県内の遺構の例でも、側溝心々間距離12mを超える前期駅路が、9世紀中ごろより後に、幅員を減じた後期駅路へと付け替えられているのが分かっています。矛盾はありません。

以上から、国府域における定説ルートが、平安時代の東山道であった可能性は高いと考えます。ただし、ここより東側をどう進み、どこで思川を渡ったかは手がかりがなく不明です。

次に気になるのが、より古い奈良時代の前期駅路の位置だと思います。これについても、県内最南端の遺構「北台遺跡」が示す道路の走行方向をベースに推定してみました。（右図）



ご興味ある方はブログ「ヨコハマ古道紀行」の記事をご覧ください。  
結論だけお見せすると、左図の通りです。



## 新田軍・大館宗氏ら鎌倉突入

津田 幸雄 (団員)

♪『七里ガ浜の磯伝い、稻村ヶ崎、名将の剣投ぜし古戦場』(明治43年尋常小学校読本唱歌)果たして、新田義貞による竜神伝説の奇跡く伝承くは起こっていたのだろうか？

1333年5月18日、新田義貞は三軍（巨福呂坂・化粧坂・極楽寺坂）で同時総攻撃を開始しますが、いずれも、「切通し」を突破できませんでした。ところが、極楽寺坂を攻めた大館宗氏らは、極楽寺口から追い出されると、数十騎が南に下り稻村ヶ崎南麓の岸辺を通って鎌倉に突入し、稻瀬川を渡って前浜の鳥居や一向堂近くまで侵入していました。

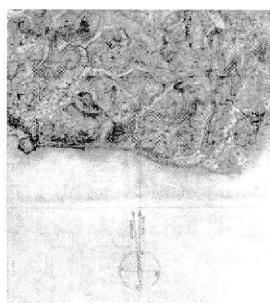
明治14年の迅速図には、稻村ヶ崎南岸に道路が見えますから、鎌倉時代も稻村ヶ崎裏の細道があったと推定できます。幕府崩壊時の遺体の埋葬や関東大震災での崖の崩壊や新住宅建設などで古道の確認は難しいと思われます。先日、現在の細道を歩いてみましたが、山中に鎌倉幕府軍と新田義貞軍との交戦の戦跡碑があり、歴史の一角落に触れた気がします。

極楽寺坂攻撃の大将・大館宗氏が稻瀬川付近で討取られた情報は、その日のうちに、新田義貞の元に届いていたはずです。更に、義貞は、極楽寺坂は突破できると判断したに違いありません。義貞自らが極楽寺坂攻撃の大将となり、靈山越えの作戦を開始します。

再総攻撃の開始が、5月22日未明ですから、中3日間を

かけ緻密な作戦を練ったのでしょう。18日に突入した数十騎のうち討取られたのは11騎ですから、残党が靈山に逃げ延びて、裏側から手引をしたとも考えられます。

奥富敬之氏は、『鎌倉北条氏の興亡』（吉川弘文館）のなかで、久米邦武説（跡を完全に否定し、和泉武士の三木村俊連が靈山寺から、切り込み、極楽寺口が通路）、高柳満寿説（干潟化を否定し、梅松論の『石高く道細し』から靈山通過説）の二説を押し進めて、大館宗氏の鎌倉内戦死と義貞の靈山越えを主張し、更に義貞の靈山越えに山頂にいた宗氏残党の援護があった（『上州新田一族』）としています。



5月22日未明、新田義貞が宝剣を投じて、戦勝を祈願したのは、全軍の士気高揚に必要だったと思われますが、「にわかに海が二十余町も干上がって、幕府の軍船がはるかかなたに遠去かった」とする太平記は信じられません。稻村ヶ崎の外側にある「十一人塚」は、かつて、内側の稻瀬川近くの御靈社境内にあったとする説は、説得力があります。加藤正昭塾長!!…是非とも、靈山越えルートのガイド・ウォークを実施して下さい。

# 歴史古街道団 予定表 (2018年5月～2018年7月)

※注 (団)=歴史古街道団 【宮田】=宮田太郎ウォーク 【学】=講演会・学習会 【ガイド】=ガイドリーダーウォーク

| 月日       | 集合場所・時間                                             | 探索・学習テーマ                                                        | 参加費                 | 申込み   | 問合せ先                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------|-------|----------------------------------------------------------|
| 5月13日(日) | 小田急多摩線「多摩センター駅」改札口前10:00                            | 【宮田】日帰り探索ウォーク<br>『一本杉公園“徳川家康・日光への御成道”と小野路の“鎌倉古道”的地下遺跡』          | 団員:700円<br>一般:1000円 | 当日    | (団)宮田<br>TEL 090-7002-3431                               |
| 5月18日(金) | 関戸公民館第1学習室(定員48名)<br>14:00～16:00<br>京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分 | 【学】吾妻鏡の勉強会第29回<br>テーマ;富士川の合戦・義経参上、レポーター;加藤正昭                    | 300円                | 当日    | (団)加藤<br>TEL 090-8010-9848                               |
| 5月20日(日) | JR中央線「高尾駅」北口改札前09:45                                | 【ガイド】山下北条氏照と八王子城(日本百名城)<br>～未完の大城郭～                             | 団員:600円<br>一般:800円  | 当日    | (団)山下<br>TEL 090-5208-3123                               |
| 5月26日(土) | 京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30                               | 【ガイド】須知多摩よこやまの道を歩こう！<br>古道の連結路で眺望を楽しもう！                         | 団員:500円<br>一般:700円  | 当日    | (団)須知<br>TEL 090-3695-7580                               |
| 5月27日(日) | 多摩市関戸公民館大会議室<br>14:00～15:00<br>京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分      | 歴史古街道団 第14回定期総会                                                 | 団員限り                | 事前申込み | (団)宮田<br>TEL 090-7002-3431<br>(団)須知<br>TEL 090-3695-7580 |
| 5月27日(日) | 多摩市関戸公民館大会議室<br>15:15～16:30<br>京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分      | 【学】歴史研究講演会－講師:風間 武(団員)<br>古代のハイウェイを訪ねて<br>～東山道痕跡の現地踏査レポート～      | 団員:500円<br>一般:700円  | 当日    | (団)宮田<br>TEL 090-7002-3431<br>(団)須知<br>TEL 090-3695-7580 |
| 6月2日(土)  | 京王相模原線「若葉台駅」改札口前10:00                               | 【宮田】日帰り探索ウォーク<br>鎌倉街道早ノ道・二つの推定路(尾根古道)をあるく                       | 団員:700円<br>一般:1000円 | 当日    | (団)宮田<br>TEL 090-7002-3431                               |
| 6月6日(水)  | 小田急多摩線「多摩センター駅」改札口前09:30                            | 【ガイド;三好他】多摩よこやまの道を歩こう！番外編<br>家康御尊櫛御成道周辺散策と<br>一本杉公園・吉民家で昼食・交流会  | 500円                | 当日    | (団)須知<br>TEL 090-3695-7580<br>(団)伊藤<br>TEL 090-5403-2217 |
| 6月15日(金) | 関戸公民館第2学習室(定員48名)<br>14:00～16:00<br>京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分 | 【学】吾妻鏡の勉強会第30回<br>テーマ;平家 三井寺・南都を焼く、レポーター;加藤正昭                   | 300円                | 当日    | (団)加藤<br>TEL 090-8010-9848                               |
| 6月23日(土) | JR中央線「西国分寺駅」北口改札前09:30                              | 【ガイド;須知】鎌倉古道を歩こう！<br>宮田太郎推定の上道を歩く・国分寺～小平編                       | 団員:500円<br>一般:700円  | 当日    | (団)須知<br>TEL 090-3695-7580                               |
| 7月2日(月)  | 京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30                               | 【ガイド;齋地、富田、真壁】多摩よこやまの道を歩こう！<br>稻城の森ヘチョウゲンボウを見に行こう！              | 団員:500円<br>一般:700円  | 当日    | (団)齋地<br>TEL 090-6184-9060                               |
| 7月20日(金) | 関戸公民館第3学習室(定員40名)<br>14:00～16:00<br>京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分 | 【学】吾妻鏡の勉強会第31回<br>テーマ;未定、レポーター;未定                               | 300円                | 当日    | (団)加藤<br>TEL 090-8010-9848                               |
| 7月21日(土) | 西武国分寺線「小川駅」東口改札前09:30                               | 【ガイド;須知】鎌倉古道を歩こう！<br>宮田太郎推定の上道を歩く・小平～東村山編                       | 団員:500円<br>一般:700円  | 当日    | (団)須知<br>TEL 090-3695-7580                               |
| 7月25日(水) | 関戸公民館第2学習室(定員48名)<br>14:00～16:00<br>京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分 | 【学】古代史勉強会<br>テーマ;倭の五王の時代(5世紀)は、どんな時代？<br>レポーター;須知 正度            | 300円                | 当日    | (団)須知<br>TEL 090-3695-7580                               |
| 7月28日(土) | 関戸公民館大会議室(定員90名)<br>14:00～15:30<br>京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分  | 【学】歴史講演会<br>テーマ;古代相模国高座郡をめぐる地域支配と交通<br>講師;田尾 誠敏氏(東海大学文学部等非常勤講師) | 700円                | 当日    | (団)須知<br>TEL 090-3695-7580                               |

## ○編集後記 ▶

暦の上では夏になりましたが、皆様、ご健勝のことと存じます。  
大変遅くなりましたが、2018年5月から7月までの予定をお届けいたします。  
宮田団長を中心に多摩丘陵古街道群の歴史遺産登録に向けた活動が始ま  
りました。また、団員主導のガイドウォークや勉強会の継続、古道遺構のメン  
テナンス実施など、ますます活発な集いになると思います。ご期待ください。

編集責任:歴史古街道団(須知)

【発行】歴史古街道団

歴史古街道団 団長 宮田 太郎

本部: 東京都多摩市桜ヶ丘

TEL: 090-7002-3431

ホームページ <http://rekchodan.a.la9.jp/>